

## 菊(きく)



最も古典的な花火で「菊花型花火」とは、菊花火のことです。

スーッとオレンジ色の尾を引きながら放射状に飛び散り、まるで菊の花のように紋を描きながら散ります。花びらの先の色が変化する菊の花火は変化菊とも呼ばれます。

## 牡丹(ぼたん)



菊と同じように丸く開きますが、尾を引かず色や光の点で牡丹のように花開かせ、シュツとした綺麗な点が特徴です。

牡丹の中でも火薬にマグネシウムなどを使用した明るい光を「ダリヤ」と呼びます。

## 冠(かむろ)



花火が打ち上げられた後も、星が長い時間丸く開きながら流れ落ち、地面につく直前に消える花火です。

流れ落ちる様がおかっぱに似ていることから「冠」と名が付けました。



## 万華鏡(まんげきょう)



万華鏡は、星を一握りずつ和紙にくるみ何個かに分散させ、玉に詰めた花火です。

打ち上げられると纏まって花開き、まるで万華鏡を覗いたかのように美しく見えます。

## ポカ花火

ポカ花火とは、文字の通り花火玉が夜空でポカッと二つに割れて、中に詰めた火薬玉が落ちていく花火。

ポカ花火には自由な動きをするものから火薬玉に落下傘を付け空からゆっくりと落ちるものもあり、それぞれ個性的な花火ばかりです。

### 千輪(せんり)



打ち上げられ、花火玉が夜空で割れた際に、中に詰めた幾つもの小玉(小さい花火)が一瞬遅れて開く花火です。

夜空一面に小さい花火がたくさん花開く姿は夏の夜空を彩り輝かせます。



## 型物(かたもの)



いわゆる創造花火で使用され、光の点や線で

- ・スマイル

- ・星

- ・ハート

などの様々な形を描き出し、子供たちからも大人気の花火。

型物は丸い形ではないため、打ち上げられた向きによって観えづらいことがありますが、真正面からだと綺麗に観られます。

## 柳(やなぎ)



柳の木が垂れさがっているかのように夜空でポカッと割れた玉から星がこぼれ落ちる様子が特徴で、花火大会の代表的なポカ花火。

現代ではカラフルな柳花火や落ちる時に色が変わる花火もあります。



## 飛遊星(ひゆうせい)



打ち上げられ夜空で開いたときに光が自由気ままに飛び回る花火。

光が流れ星のように飛び回る姿はまるで流れ星のようで人気があり、最近では色々な飛び方をする星が作り出されています。